

事例演習の進め方(受講前の課題)課題について

受講予定の皆様は、提示してある事例について生活環境プランを各自検討ください。目的は、福祉用具の活用・導入や住宅の改善、人的支援の3つの要素をうまく使い、質の高い生活を提案することです。

当日は、各自のプランをもとにグループ毎に検討して頂きます。

基本的には、これが正解と思われる答えはありません。ただ、提示するプランに生活上の矛盾があってははいけません。正解を導き出すというよりは、情報を整理統合し、より多くのプランを状況に合わせた提示が出来るよう準備しておく必要があります。そのために今回の研修ではグループ毎にプラン作成をして頂いた後、発表し意見交換を皆様と一緒にやりたいと考えております。

当日は、各グループに可能な範囲で福祉用具のカタログなどを用意しておきます。不足もあるとは思いますが、お手持ちの分がありましたらご持参ください。また、グループ討議がスムーズに行えますよう、事前に各自でご検討いただき、数多くのプランをお持ちいただくようお願い致します。

【 課 題 】

今回の対象者は、A さんで、事例の概略は、別紙の通りとなっております。この A さんは、今回介護老人保健施設から在宅に退所するにあたっての支援となります。

A さんは、介護保険において、要介護2の認定を受け、かかりつけ医、本人、家族との協議により通所系サービスの利用希望が、週2回に決定しております。その他、訪問系のサービス等の利用は、未定となっております。

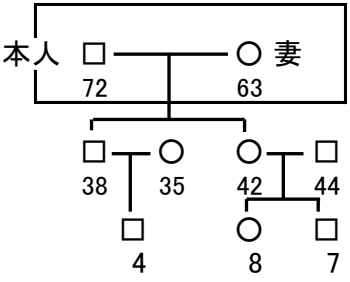
このような点をふまえ、以下の①～⑧までについて検討してみましょう。特に福祉用具については、一つの商品に絞り込むことができるように検討してください。

なお、①～⑧まで以外で問題となりそうな点があれば合わせて検討してください。

- ① 寝室の場所の検討(本人ばかりでなく奥さんの寝室も考えましょう)
- ② 日中過ごす場所の検討
- ③ 食事場所の検討
- ④ 排泄形態と場所の検討(日中と夜間)
- ⑤ 入浴の形態と方法の検討(介護者の確保と福祉用具の選定)
- ⑥ 外出手段の確保
- ⑦ ベッドや車いすなど必要な福祉用具の選定とレイアウト(図面上に記入)
- ⑧ 住宅改善方法と規模、役割(図面上に記入)

図面上に記入できるものは記入します。家財道具は、図面上には記されていません。一般的なものとして、合わせて図面上に記入してください。

事 例 概 要

氏 名	A さん	性 別	男性	年 齢	72 歳
家族構成	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 2; padding-left: 10px;"> <p>妻と2人暮らし、近所に息子夫婦居住 妻 63歳 主介護者 腰痛持ち</p> <p>長男 38歳 会社員 朝早く夜遅い帰宅 嫁 35歳 会社員 家事を部分的に協力 孫 4歳 保育園</p> </div> </div>				
診断名	脳梗塞 左片麻痺	要介護度	要介護2		
合併症	特になし				
経 過	1年前に発症 急性期よりリハビリテーションを実施。 3カ月前 隣接する介護老人保健施設に移りリハビリテーションを継続。 今回退所となり、継続して在宅にて療養予定。				
日常生活 (現状)	<p>起居動作 : 寝返り起き上がりはベッド柵を用いて可能。</p> <p>座位保持 : 問題なし。</p> <p>立ち上がり : 要監視レベル。</p> <p>歩 行 : 短下肢装具装着にて平行棒内監視歩行可。杖歩行不可。</p> <p>車いす操作 : 施設内移動自立(駆動可能)。</p> <p>移乗動作 : ベッド⇄車いす間 要監視レベル。</p> <p>食 事 : 自 立。</p> <p>排 泄 : 施設内 日中トイレにて移乗のみ監視、尿失禁なし。 夜間2~3回尿器にて一部介助。</p> <p>整 容 : 更衣自立、洗面施設内自立(車いす)</p> <p>入 浴 : 介助浴(施設内浴室にて)浴槽の出入りは介助にて可能。</p> <p>その他 : 記憶や判断力、高次脳機能障害などはなし。</p>				
性 格	一度言い出すと聞かない頑固者、危険なことはせず慎重。				
趣 味	植木、盆栽、スポーツ観戦など				
経済状況	年金生活、蓄えは問題なしとのこと				
家族の意見	<p>○妻が、主たる介護者であるが、自分の体力的な問題へ不安を抱えている。</p> <p>○妻は、長男夫婦が共働きであるため孫を保育園へ送り迎えする事が日課である。</p> <p>○長男は、在宅介護に関して理解・協力的であるが、経済的支援が中心である。</p> <p>○将来的には同居も考えているが、当面は、現在の住居において、介護者の負担が少ないように福祉機器や住宅改造の検討を希望している。</p> <p>○できるだけ自分で行えることは自分で行ってほしい。</p> <p>○あまり大掛かりな改修は望んでいない。</p>				

【生活支援目標】

①寝室場所

<本人>

<夫人>

②日中過ごす場所

③食事場所

④排泄形態と場所

<日中> 形態 場所

<夜間> 形態 場所

<使用する福祉用具>

<住宅改修>

⑤入浴の形態と方法

<介助者>

<使用する福祉用具>

<住宅改修>

⑥外出手段

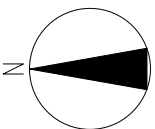
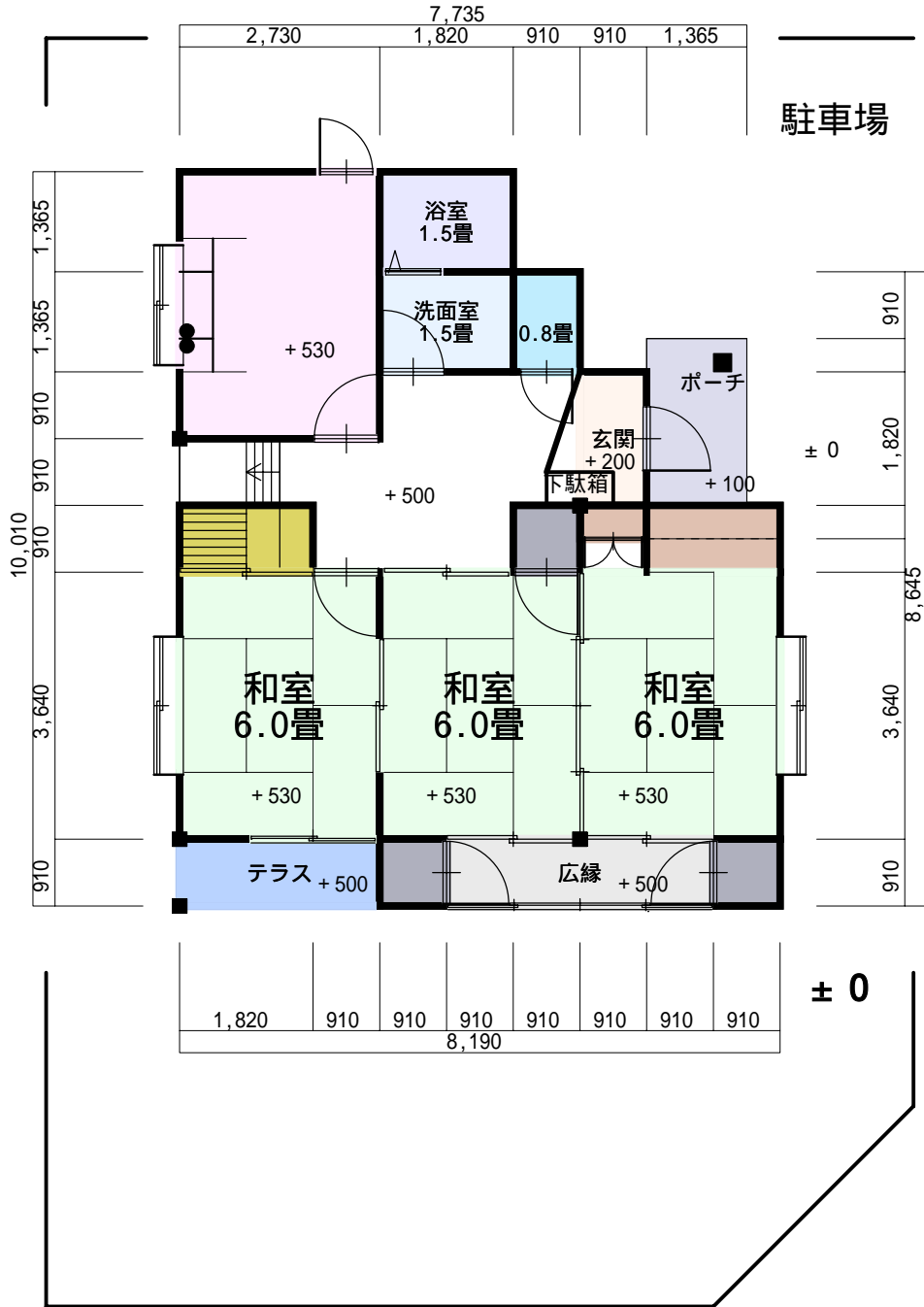
<どこから>

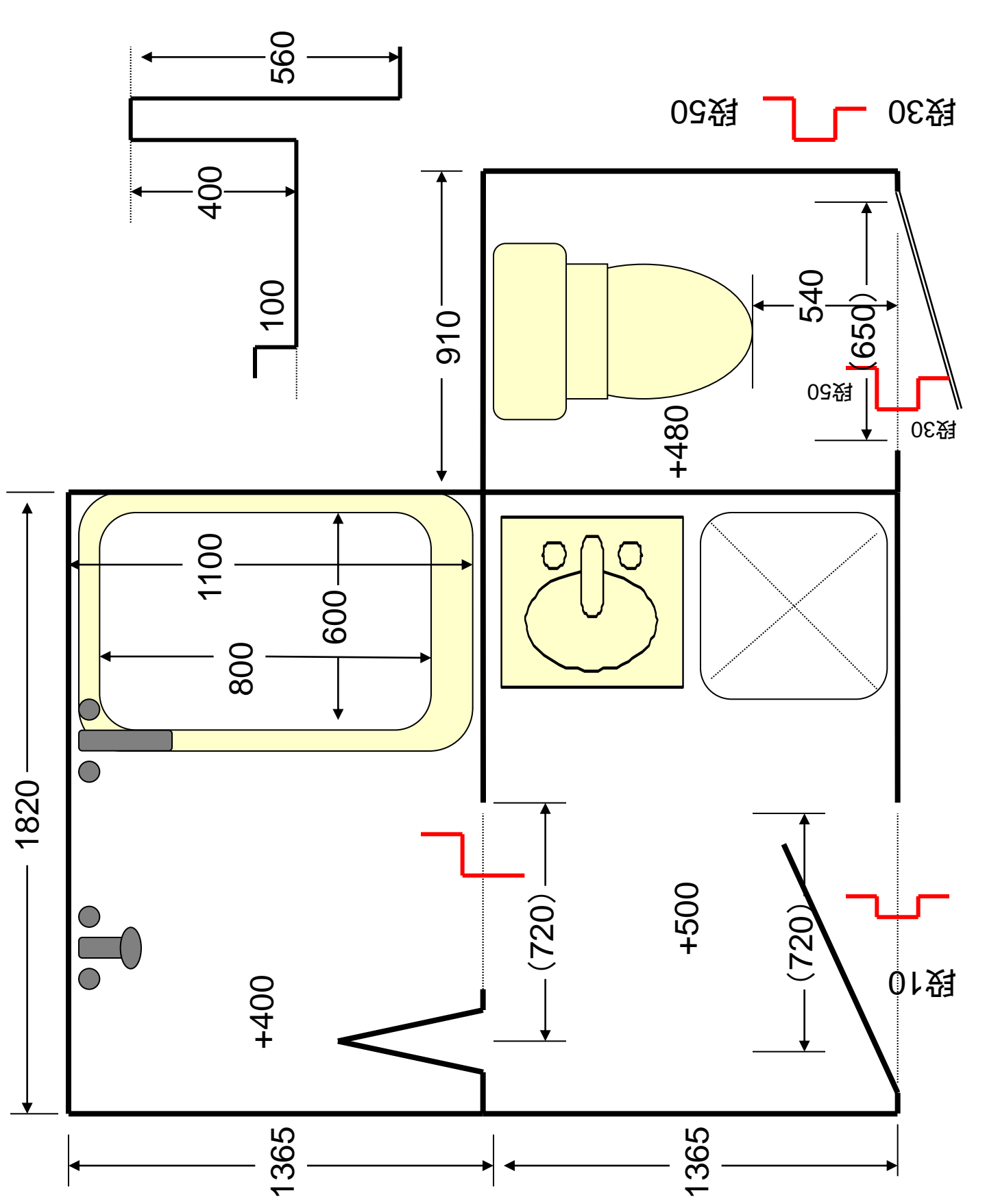
<介助者>

<どこへ>

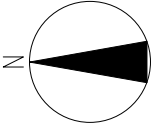
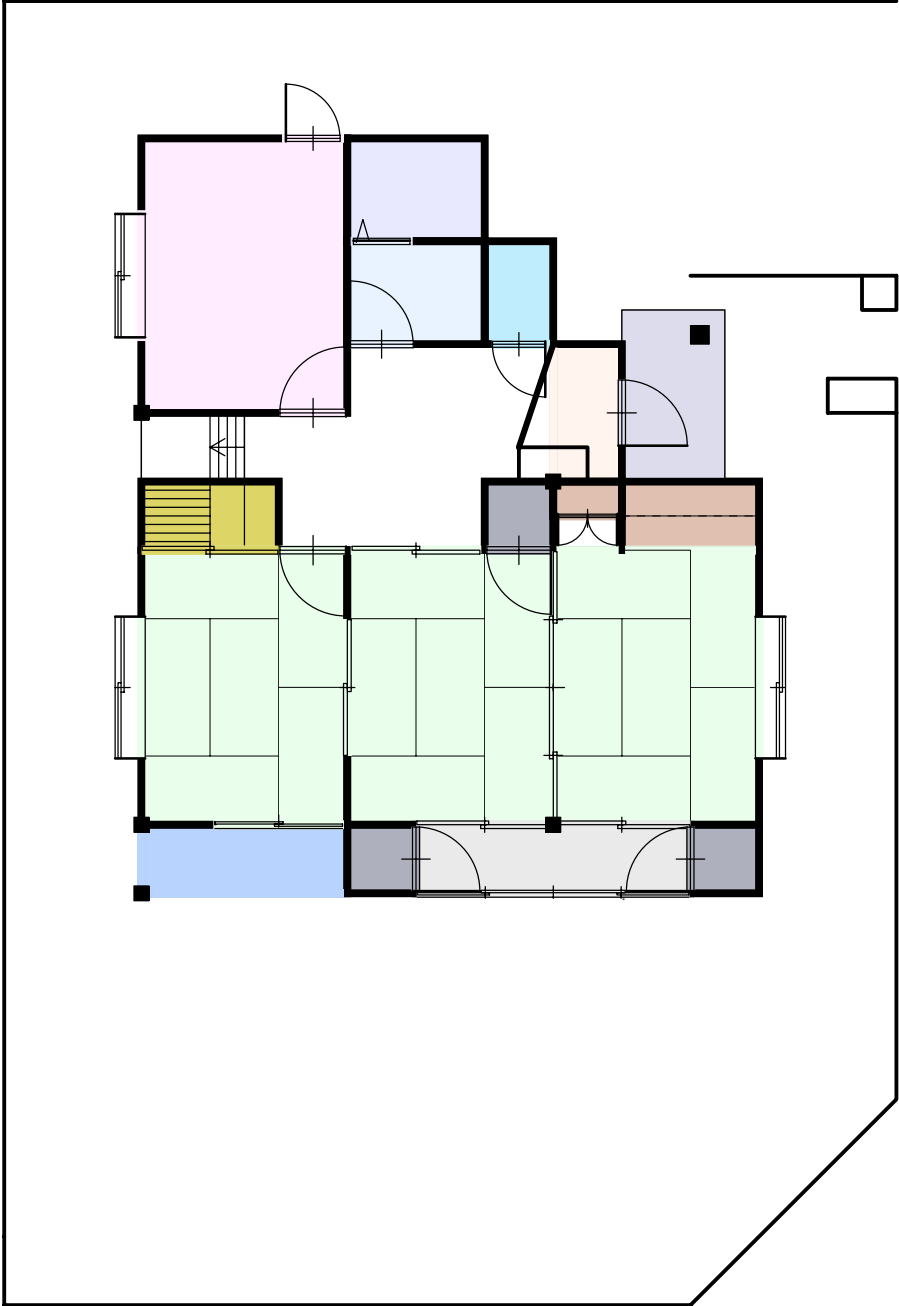
<住宅改修>

1階 縮尺 1/100





1階 縮尺 1/100



課題③

